

さあ、いい方の未来へ

For a Better Future

社食で持続可能な社会を考える

SDGs@食堂

Considering a sustainable society through the company cafeteria

SDGs@cafeteria

2019年11月8日

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
総合企画部 サステナビリティ推進室 課長 富田 良知

なぜ、私たちはサスシーを始めたのか？

Why have we begun "sustainable seafood"?

1. 保険会社が“なぜ”？

Why an insurance company?

2. SDGs@食堂

SDGs@cafeteria

3. パートナーシップ = JBIB

Partnership = JBIB

私たちの「価値創造ストーリー」とSDGs

“The Story of value creation” and the SDGs



2030年に目指す社会像

レジリエントで
サステナブルな社会

安定した人々の生活

活発な事業活動

安心・安全の提供

MS&ADの 価値創造ストーリー

グローバルな保険・金融サービス事業



経済的な負担を
小さくする

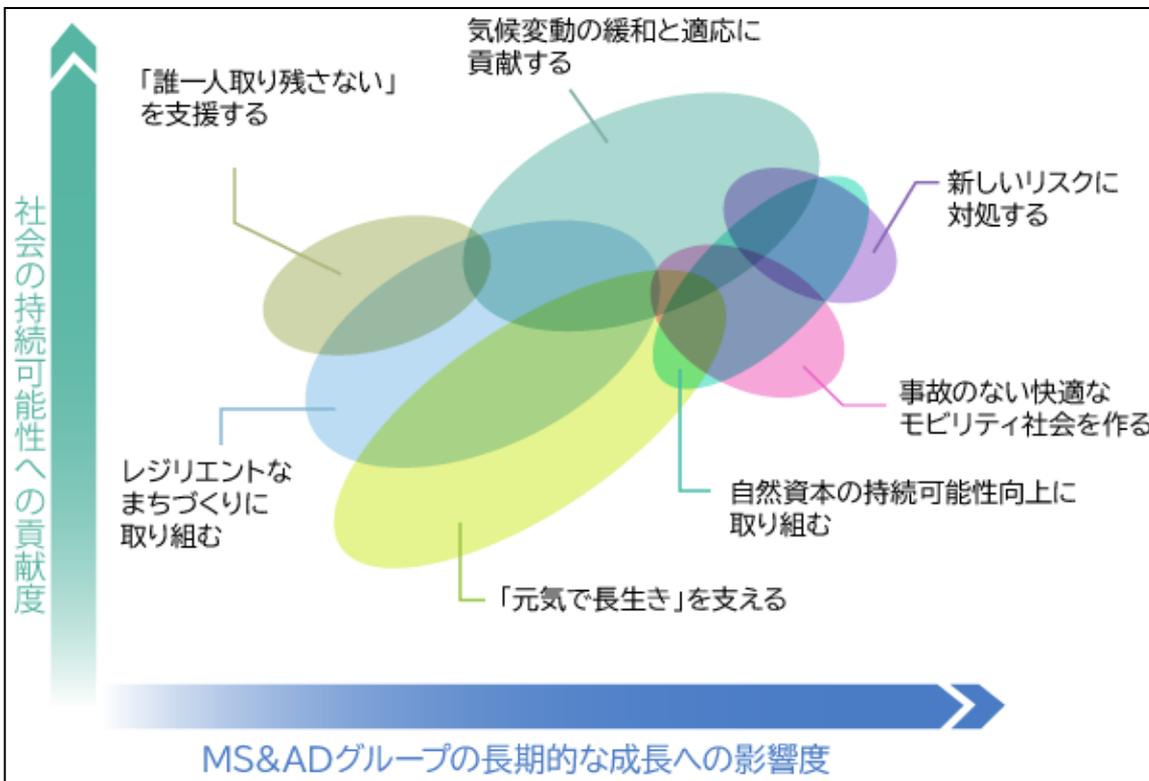


リスクの
発現を防ぐ・影響を小
さくする

マテリアリティ分析による重点課題

Material issues through materiality analysis

本業を通じて取り組むマテリアリティ分析(重点課題の特定)



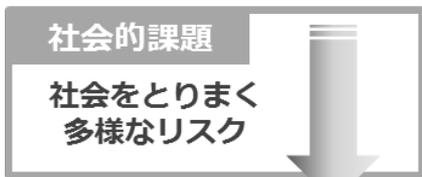
重点課題と関連する主なSDGs

新しいリスクに対処する	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
事故のない快適なモビリティ社会を作る	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを
レジリエントなまちづくりに取り組む	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを
「元気で長生き」を支える	3 すべての人に健康と福祉を
気候変動の緩和と適応に貢献する	7 再生可能エネルギーを拡大して持続可能なエネルギーを 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を
自然資本の持続可能性向上に取り組む	6 安全な水とトイレを世界中に 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
「誰一人取り残さない」を支援する	1 貧困をなくそう 2 健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

MS & ADのサステナビリティ取組

MS&AD's sustainability initiatives

「価値創造ストーリー」を紡ぐ企業活動を通じて、社会との共通価値を創造し (CSV : Creating Shared Value) 、2030年に目指す社会像を実現する。



2030年に目指す社会像

レジリエントでサステナブルな社会

安定した人々の生活

活発な事業活動

安心・安全の提供

グローバルな保険・金融サービス事業

5つの事業ドメイン

- 国内損害保険事業
 - 国内生命保険事業
 - 金融サービス事業
 - リスク関連サービス事業
- 海外事業

MS&ADのビジネスモデル



社会との共通価値を創造

- 新しいリスクに対処する
- 事故のない快適なモビリティ社会を作る
- レジリエントなまちづくりに取り組む
- 「元気で長生き」を支える
- 気候変動の緩和と適応に貢献する
- 自然資本の持続可能性向上に取り組む
- 「誰一人取り残さない」を支援する



社会の信頼に応える品質

- 高い品質で社会の信頼に応える
- 誠実かつ公平・公正な活動
- 人権を尊重した活動と対話
- 環境負荷低減取組を継続する
- PRI（責任投資原則）に則った投資活動



社員がいきいきと活躍できる経営基盤

- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 自ら学び考え、チャレンジし、成長し続ける社員に
- 健康経営
- 透明性と実効性の高いコーポレートガバナンス



社員の普及啓発取組

Employee awareness-raising initiatives

バッジの配布



「Vision2021」とSDGsについて

- SDGs (Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標) は、2015年に国連サミットで採択され、先進国・途上国の政府をはじめ、民間企業やNGOなどが実現に向けた取組を開始している2030年を期限とするユニバーサルな目標です。
- 経営理念(ミッション)や、価値創造ストーリーと親和性が高いため、中期経営計画の中で、社会との共通価値創造のあり方を示す道標(みちしるべ)として取り入れました。
- 当社グループは、2030年に目指す社会像を「レジリエントでサステナブルな社会※」とし、SDGsを意識した取組を今後進めていきます。

※地球環境、社会や人間に関わる課題を解決しながら、複数の世代にわたって誰もが安心、安全に過ごすことのできる活力ある社会

SDGs バッジ

- SDGsの17色をバッジにしたもの。日本のSDGs推進本部や経団連も推進ツールとして着用しています。
- MS&ADグループでは裏面にグループ名を刻印したバッジを作成いたしました。バッジの着用を通じ、当社グループのSDGsへの取組姿勢を社内外にアピール願います。



社内テレビでの特集



MS&AD
Unity
2018(特別号) Vol.29

2018年4月から、MS&ADグループの中期経営計画「Vision 2021」がスタートしました。今号の「Unity」では、グループ中期経営計画のポイントを分かりやすくマンガを交えて解説します。一人ひとりが理解を深め、グループ総合力を結集して、目指す姿の実現に向けて取り組んでいきましょう！

登場人物

 持株会社 榎澤 社長	 持株会社 藤井 副社長	 持株会社 藤井 副社長 マーケティング 部長 Cさん	 営業部門 Sさん	 換金部門 Vさん
----------------	-----------------	-----------------------------------	--------------	--------------

「これにまつに私たちが雇ったわね！」
「それって、最近テレビや新聞で書いてる人をよく見かけるね。」

「これはSDGs(エス・ディー・ジーズ)バッジよ！」

MS&AD INSURANCE GROUP

〈基礎編〉
私たちの仕事とSDGs

「持続可能な開発目標」と言っても、うちの会社には関係あるのかな？

関係大アリよ新人くん！
それどころか新しいビジネスチャンスでもあるんだから！

「まばん!!」

マンガをつかった啓発

サステナビリティコンテストの開催

Sustainability Contest for our group companies

MS&AD

2018年4月上旬

申込期間

応募 526件

2018年7月下旬

事務局 入賞選考

サステナビリティ
委員会で承認

2018年8月26日

グループ横断

サスコン

SDGsは道しるべ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

MS&ADインシュアランスグループ

サステナビリティコンテスト2018

を実施
します！

皆さんが現在行っている業務・事業が、当社グループや社会のサステナビリティ(持続可能性)につながって(役立っている)取組事例を募集します。新たな業務・事業の提案も受け付けます。

- 対象: MS&ADグループに所属する全社員
- 応募期間: 2018年4月9日(月)～2018年7月20日(金)必着

組織・団体応募、個人応募、いずれもOKです。
積極的なご応募をお待ちしています！



入賞10組が出席、上位6組が発表し、グループ役員の参加のもと、当日の投票で最優秀賞を表彰

参考 Idea for Goodの記事(<https://ideasforgood.jp/2018/09/06/ms-ad-group/>)

社食で持続可能な社会を考えるSDGs@食堂

Thinking about a Sustainable Society in the Company Cafeteria SDSs @Cafeteria



社食で持続可能な社会を考える
SDGs @食堂

14 海の豊かさを守ろう

持続可能な漁業・水産業で獲られた魚介類で作られた食べ物

サステナブル・シーフードを食べよう！

駿河台ビル・駿河台新館の社員食堂でサステナブル・シーフードをメニューに取り入れます。

持続可能な漁業・水産業で獲られた魚介類で作られた食べ物

サステナブル・シーフードを食べよう！

駿河台ビル・駿河台新館の社員食堂では月に一度、サステナブル・シーフードをメニューに取り入れます。



「サステナブル・シーフード」を選ぼう！

SUSTAINABLE SEAFOOD



私たちは、MSCとASCのCoC認証を取得しています。

「これらマークが付いた水産物メニューは、MSC（海洋管理協議会）認証を取得した持続可能な漁業で獲られたもの、あるいはASC（水産養殖管理協議会）認証を取得した責任ある養殖場で育てられた水産物を使用しております。www.msc.org/jpwww.asc.aqua.org」

私たちが普段食べている魚介類は海の恵みです。その貴重な資源は乱獲や環境汚染により年々減少しています。これからも私たちが、子どもたちが持続的に魚を食べられるために、今できること、考えませんか？

海のエコラベル MSC認証

「MSC認証」とは？
水産資源と環境に配慮した漁業で獲られた天然の水産物の証

海のエコラベル ASC認証

「ASCラベル」とは？
環境と社会への影響を最小限にして育てられた養殖の水産物の証

↑
普段の買い物でもこのマークの商品を選びましょう！

社食で持続可能な社会を考える SDGs @食堂

私たちが普段食べている魚介類は海の恵みです。その貴重な資源は乱獲や環境汚染により年々減少しています。これからも私たちが、子どもたちが持続的に魚を食べられるために、今できること、考えませんか？

海のエコラベル MSC認証

「MSC認証」とは？
水産資源と環境に配慮した漁業で獲られた天然の水産物の証

海のエコラベル ASC認証

「ASCラベル」とは？
環境と社会への影響を最小限にして育てられた養殖の水産物の証

↑
普段の買い物でもこのマークの商品を選びましょう！

MS&AD MS&ADインシニアランスグループ × aim エムサービス株式会社



MS&AD MS&ADホールディングス

MS&AD MS&ADホールディングス

社食で持続可能な社会を考えるSDGs@食堂

Thinking about a Sustainable Society at the Company Cafeteria SDGs @cafeteria



JBIBとは What is JBIB?

和名: 一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ

Japanese Name: Ippan Shadan Hojin, Kigyo to Seibutsutayosei Inishiatibu

英名(English Name): Japan Business Initiative for Biodiversity

略称(Abbreviation): JBIB

設立 2008年4月1日 Established: April 1st, 2008

会員 正会員: 30社 Regular Members: 30 companies

ネットワーク会員: 14社 Associate Members: 14 companies



5つのWG

ESG情報開示研究WG

Study of ESG Disclosure WG

サプライチェーン研究WG

Study of Sustainable Supply Chains WG

海洋プラスチック研究WG

Study of Marine Plastics Issues WG

緑地価値発見コミュニケーションWG

Study of Discovering & Sharing Green Values WG

SDGs街づくり研究WG

Study of Sustainable Town Planning WG

JBIBとは What is JBIB?

正会員 30社



ネットワーク会員 14社

